

## 候補者選考委員会（第4回）議事要旨

日 時 令和8年4月3日（金） 13:00～15:00  
場 所 日本学術会議大会議室（オンライン会議併用）  
出席者 山口委員長、大野委員長代理、五十嵐委員、岡部委員、  
長我部委員、國土委員、小谷委員、城山委員、清家委員、仲委員、  
長田委員、羽入委員、原山委員、松本委員、望月委員、森委員  
(欠席) 大隅委員、川合委員、長谷川委員、藤野委員  
(事務局) 畠山局長、田中次長、水本企画課長

### 審議内容等

#### 1. 会員予定者の選考対象者数について

資料2「会員予定者候補者選考対象者数」に基づいて事務局から会員予定者の選考対象者数について報告した。

#### 2. 選考チーム（セクション）の構成について

各セクションに所属する委員及び専門委員について委員長が指名した。

#### 3. 選考の進め方等について

資料4「選考の進め方（案）」等に基づいて事務局から説明し、意見交換を行った。主な意見及びやりとりは次の通り。

- ・投票の対象は何なのかとの質問があり、「選考の進め方（案）」において、セクション長と委員が候補者名簿を作成し、投票するとなっていることから、原則は名簿全部を見ていただいて、それへの賛否を問う形になると考えられる旨、事務局より回答した。
- ・セクション1～3の候補者の中にセクション4でも選ばれ得る候補者がいた場合の考え方について質問があり、それぞれの分野において優れた候補者であれば、セクション4で候補者となっている方でもセクション1～3で選考することは可能であること、セクション1～3と4の両方から同じ候補者が選考された場合は、最終的に本委員会で調整をいただくことを想定している旨、事務局より回答した。
- ・セクション1～3についてはそれぞれの分野に見識のある方が専門委員を担当しているので、候補者名簿の原案は比較的作りやすいと思うが、セクション4は専門委員が10名程度それぞれリストアップすることになっているところ、その名簿をどうやって統合するのかということについては、いろいろ考え方を調整しなければいけないのではないかと。
- ・セクション4については、新しい分野の重要性、学術的な価値を御理解いただくために、当該分野について見識のある方の説明が必要になるのではないかと。

- ・情報の取扱いに関して、相当な量の個人情報を取り扱うことにもなるため、情報にアクセスする時のセキュリティは重要であると考える。
- ・セクション4は環境学を除いて各専門委員は分野に関係なく全体から選ぶということになるので、各専門委員の選考した10名の候補者が重複し、必要な数を下回る数しか専門委員から上がらないというケースもあり得ると思うので対策が必要ではないか。
- ・セクション1～3の候補者の中にセクション4の選考対象にもなり得るのではないかと考えられる方がいた場合、セクション1～3からセクション4に候補者を受け渡すことはできないのかとの質問があり、そのようなことは想定していない旨、事務局より回答した。
- ・セクション4は大変重要であり、学術会議として、今回設けたセクション4をどういう位置付けとして、そこから選ばれた会員にどういう方向性で活動をしていただくかということはしっかりご議論いただいた方が良いのではないか。

#### 4. その他

次回委員会については、5月27日（水）13時～15時に開催することとした。

以 上